

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワーク実習指導 b		選択	2	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡邊 隆文 他	B307	t.watanabe	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的> ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力習得を目的とする。そして、実習を振り返り、実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門性として概念化し理論化し体系立てていくことができる総合的な能力の涵養を目指す。</p> <p><概要> ソーシャルワーク実習に必要なとされる実習分野（利用者理解含む。）と施設・機関、地域社会等や実習先で関わる他の職種の専門性や業務の基本理解、ソーシャルワークの価値規範と倫理・知識及び技術、個人のプライバシーの保護と守秘義務等、さらに実習記録への記録内容及び記録方法、実習計画の作成方法について学ぶ。また、ソーシャルワーク実習中に巡回指導を受ける。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート				
学習上の助言	社会福祉士国家試験科目とは考え方の基盤が重複するため、関連付けて復習しておくことが望ましい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 8 ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習[社会専門]/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	必要に応じて資料を配布する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	実習分野と施設・機関、地域社会等の基本について理解し説明できる。			HSU(2)、HC(5)	
②	実習に必要なソーシャルワークの価値規範と倫理・知識及び技術を理解し説明できる。			HSU(1)、HC(1)	
③	実習記録への記録内容及び記録方法を理解し説明できる。			HSU(2)、HC(5)	
④	他者との協議を踏まえた実習計画の作成方法を理解し説明できる。			HSU(4)、HC(2)、(3)、(6)	
⑤					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	講義契約（講義の概略、進めかた、学びの方法、成績評価）について理解する。実習及び実習指導の意義について学ぶ。	講義・ ディスカッション	内容の振り返りと発表準備を行う。	5	
2	実習統括レポートを発表する。	プレゼンテーション	発表から得た学びを整理する。	4	
3	実習分野と施設・機関、地域社会等の基本について理解を深める。	グループワーク	内容の振り返りを行う。	4	
4	実習先で関わる他の職種の専門性や業務に関する基本について学ぶ。	講義・ ディスカッション	内容の振り返りを行う。	4	
5	実習で必要とされるソーシャルワークの価値規範と倫理・知識及び技術について学ぶ。	講義・ ディスカッション	内容の振り返りを行う。	4	
6	実習における個人のプライバシーの保護と守秘義務等について学ぶ。	グループワーク	内容の振り返りを行う。	4	
7	実習記録への記録内容及び記録方法について学ぶ。	グループワーク	内容の振り返りを行う。	4	
8	実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画を作成する①。	演習	計画書の作成と発表準備を行う。	6	
9	実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画を作成する②。	演習	計画書の作成と発表準備を行う。	6	
10	実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画を作成する③。	演習	計画書の作成と発表準備を行う。	6	
11	実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画を作成する④。	演習	計画書の作成と発表準備を行う。	6	
12	実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画を作成する⑤。	プレゼンテーション	発表から得た学びを整理する。	4	
13	巡回指導を受ける①	指導	巡回指導の内容を整理する。	1	
14	巡回指導を受ける②	指導	巡回指導の内容を整理する。	1	
15	巡回指導を受ける③	指導	巡回指導の内容を整理する。	1	

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照		
---	--------------------------	--	--

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	40	20	0	40	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	0	20	5	0	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	20	20
	発表・表現伝達する力	0	10	15	0	0	25
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①		「実習計画書」の作成に関する達成度等によって評価する。	個別にフィードバックする。
	②			
	③			
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
成果発表	①		総括レポートの発表や実習計画を担当教員や実習指導者に発表する。発表内容や聞き手を意識した発表ができているかを評価する。	講義内で適宜フィードバックする。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	実習に向けた心構えや授業・課題に対する取り組み状況、参加状況を総合的に評価する。	個別にフィードバックする。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	田村 正人
教員の実務経験	社会福祉士取得後6年の実務経験を有する。
実践的授業の内容	教科書に記載されている一般的事項を踏まえつつ、社会福祉士としての教員自身の事例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渡邊クラスと田村クラスに分かれて行う。 ・ 社会福祉士取得希望者は必ず履修すること。 ・ 生成 AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 ・ 教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めないこともある。